



日本骨髄バンクの現状（平成 22 年 10 月末現在）

	9 月	10 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,033	4,497	372,433	481,785
患者登録者数	202	188	2,813	31,393
骨髄移植例数	102	120	-	12,324

■20 歳未満のドナー登録者数

10 月 333 人
合計 13,645 人（17 年 3 月～）

■51 歳以上のドナー登録者数

10 月新規 163 人
延長 238 人
合計 20,312 人（17 年 9 月～）

■10 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,270 人、献血併行型集団登録会／2,754 人、集団登録会／321 人、その他／152 人
注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 AC ジャパン 広告キャンペーンの再開について

平成 20 年 6 月で中断している AC ジャパン（旧公共広告機構）の広告キャンペーンが、来年の 7 月から 3 年ぶりに再開されることが決定しました。AC では、新しい支援先に機会を与えたいとして、当財団等、古くからの支援先への支援を中断していました。AC の広告キャンペーンは、テレビ・ラジオ CM や 駅貼り 広告 など 皆さんの 目につく 機会が多い ことから、骨髄バンク事業の知名度向上に大きな力となります。夏目雅子さんや本田美奈子さん、サッカーの井原正巳さん等の AC による CM を覚えていらっしゃる方も多いと思います。

骨髄バンクの新規ドナー登録者数は平成 17 年度をピークに減少傾向にありましたが、本年度はこれまで（4 月～10 月）22,564 名の登録があり、昨年同期に比べ 1,900 名余りの増加となっています。来年度の AC 広告キャンペーン再開により、一層のドナー登録者拡大が期待されます。

2 説明員研修会 & チャンス・グラビア・DVD の改訂について

11 月 3 日の東京を皮切りに 12 月 4 日の仙台まで、全国 7 地区で説明員研修会が開催されています。今年は、限定的にはありますが 10 月からコーディネートが開始されている、非血縁者間末梢血幹細胞移植を中心とした内容となっています。また、非血縁者間末梢血幹細胞移植の導入に伴って、パンフレット（チャンス）、グラビア、登録用 DVD の改訂作業を行っています。来年の 1 月から新しい資料によるドナー登録会等での説明が始まります。

3 先月の骨髄バンク推進月間について

10 月は骨髄バンク推進月間でした。今年も全国各地でドナー登録会やチャリティキャンペーン等、数多くのイベントが開催された他、政府広報番組等、テレビやラジオでも骨髄バンクが紹介されました。この結果、10 月にご登録いただいた方は昨年を 152 名上回る 4,497 名となりました。ドナー登録をしていただいた方々をはじめ、ご協力いただいた関係者の皆さまに、厚くお礼申し上げます。

4 「最初の評議員の選定方法」について

公益法人制度改革における「最初の評議員の選定方法」に関しては、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う

関係法律の整備に関する法律」第92条の規定により、現主務官庁の認可が必要とされています。そこで厚生労働大臣宛に認可申請を行い、10月19日付で、最初の評議員の選任は評議員選定委員会を設置して同委員会の決議で選任する旨、認可を得ました。

5 PBSC Tの導入に備えた寄附行為の変更手続きについて

非血縁者間の末梢血幹細胞移植（PBSC T）の導入に伴う寄附行為の改正については、臨時理事会・評議員会の後、厚生労働大臣宛に変更認可申請を行い、10月18日に認可を得たところです。この認可書をもって10月19日に登記が無事完了しました。

6 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開・一部非公開	11月18日（木）17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室
医療委員会	公開・一部非公開	11月27日（土）14:00～ 廣瀬第1ビル2階会議室
常任理事会	公開・一部非公開	12月16日（木）17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室

- お詫びと訂正 -

10月15日発行のMONTHLY JMDPに掲載した「認定施設別の移植・採取件数」に間違いがありました。お詫びするとともに、今月号に訂正版を掲載いたします。

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、調整医師、採取施設、移植施設およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7 「骨髄バンクドナーを対象とした臨床研究について」（通知）

このたび認定施設から、『全身麻酔前の飲水に関する臨床試験を患者に対しては行っているが、同意書を取った上で非血縁ドナーを被験者としてよいか？』との問合せをいただきました。

研究内容は、全身麻酔前の飲水制限の時間に関するもので、リスクを評価するものです。この件についてドナー安全委員会において検討を行い、「善意のドナーの方を対象とした本臨床試験については、トラブル発生時の責任の所在等が問題になると考えられるため、ご遠慮いただきたい。」とされました。各採取認定施設におかれましては、骨髄バンクドナーに対してリスクを伴う臨床研究等の被験者とはされないよう、お願い申し上げます。

8 「コーディネーションスタッフ研修会」報告

11月5日に4月から業務を開始したコーディネーションスタッフの研修会が開催され、コーディネーションスタッフ14人と地区事務局代表者が参加しました。

上半期の業務について地区ごとに発表の後、グループに分かれ、他地区のコーディネーションスタッフとの意見交換や、地区ごとの下半期の活動について討議を行いました。また文教大学の木桃代先生による「関係者との円滑なコミュニケーションについて ～アサーティブコミュニケーション～」と題したケーススタディも行われました。

9 第2回「PBSC Tに関する研修会」の開催について

11月6日にコーディネーションスタッフ・PBSC T担当コーディネーター・各地区事務局の代表者を対象として、第2回「PBSC Tに関する研修会」が開催されました。

今回は、末梢血幹細胞移植を含んだコーディネートの運用の詳細や末梢血幹細胞ドナー団体傷害保険の概要説明等、より実際的な内容の研修が行われました。また、東海大学医学部附属病院クリニカル移植コーディネーターの三枝真理さんより、骨髄提供と末梢血幹細胞提供について説明する際のポイント等について講義が行われました。その後、2つの採取方法についてドナーの方のご意向（承諾しない採取方法があるかどうか）を確認する行程のロールプレイを行いました。

11月～12月にかけて各地区で行われる地区会議研修会では、すべてのコーディネーターの皆様を対象として、2回目のPBSC Tに関する研修を実施します。

10 連絡事項

■年末年始の確認検査・再検査の実施とSRLの予約について

年末・・・確認検査：12月24日（金）まで、再検査：12月28日（火）まで

年始・・・確認検査・再検査ともに、1月5日（水）から

SRLの予約：1月5日～7日採血希望の場合は、12月24日（金）14：30のハルフトまで。

（ハルフト時間に間に合うよう、余裕をもってご対応ください）

■年末年始の検体保存事業の受付について

年末・・・12月24日（金）までに東海大必着

※北海道・九州地区は12/21（火）までに、それ以外の地区は12/22（水）までに
発送をお願いします。

年始・・・1月5日（水）採血・発送分から受付可能

■末梢血幹細胞採取マニュアル・コーディネート業務マニュアル等の送付について

末梢血幹細胞移植導入に伴い、下記のマニュアルを作成しました。末梢血幹細胞移植の実施は当面は限定的となり、ご対応いただく先生方やコーディネーターの方々も限られますが、下記のマニュアルは今号のマンスリーJMDPに同封して、次に示す対象者に送付させていただきます。

【採取責任医師・地区代表協力医師・調整医師の先生方・コーディネーターへお送りするもの】

●末梢血幹細胞採取マニュアル

●末梢血幹細胞採取マニュアルの参考資料

・帳票集

・名古屋大学医学部附属病院中心静脈カテーテル挿入マニュアル

・院内における血液細胞処理のための指針/付

【調整医師の先生方へお送りするもの】

●コーディネート業務マニュアル（調整医師編）

【コーディネーターへお送りするもの】

●コーディネート業務マニュアル（調整医師編・コーディネーター編）